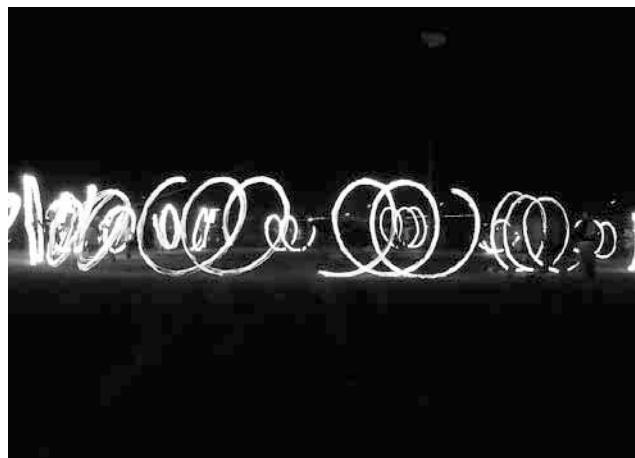
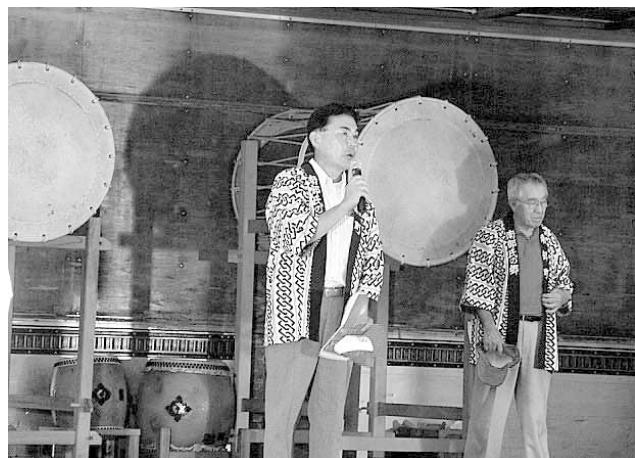


# 平成23年度 なんぶの火祭り

今年も8月15日に旧南部橋周辺の富士川河川敷をメイン会場として南部の火祭りが開催されました。

昨年から始まつた投げ松明の疑似体験は今年多くの子供たちが集まりました。クルクルと回して投げる独特の方法に 笠と反対へ投げてしまつ子もいましたが、そのうちにみんな慣れたらようで、うむく 笠めがけて投げていました。会場が闇に包まれる頃、本物の投げ松明が始まり、松明の炎が 笠に灯ると大きな歓声が上がるとともに、炎が揺りました。



厳かに進められた大松明への点火、 灯 笠流しに続き富士川を焦がす百八を ようにと “3・11” と竹灯 笠が並べられ、点火されると柔らかい光がメイン会場を包みました。

祭りの最後はあなどり、山間に咲く迫力ある2尺玉を始めとした打ち上げ花火。華開くと会場は拍手と歓声に包まれました。

火祭りにご協力いただきいた皆様、ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。



## 地震防災講演会

8月26日、南部町文化ホールにおいて地震防災講演会が開催されました。

講師は、南部町楮根出身の林晏宏（はやしやあひろ）さん。林さんは元NHK記者で、現在は山梨県立大学 国際政策学部講師として、また山梨県防災会議 地震部会 専門委員としてご活躍されています。

『東海地震が怖くないのですか？』～南部町の地震防災・減災～というテーマでこれまでに起きた地震の経緯や、ご自身が取材で得た貴重な話、そして南部町は、東海地震の想定震源域の中には位置していることから、どのような地域に住んでいるのかを知り、東海地震が起きた場合、予想される災害規模などの話を聞いて頂きました。

ほとんどの『皆がここで出来るのは、とは家の耐震化・家具の固定・あと一つはどう避難するかを日々じるから教えておくれ』と強調しました。

この講演を通じてこれからも防災・減災意識を高め、まずは身の回りの危険を把握するから始めてみましょう。



### 南部町の耐震化への取り組み

南部町では現在以下の4点の取り組みを実施しています。ご利用を希望される方は役場交通防災課までお問い合わせください。

- ◆木造住宅耐震診断（診断無料）
  - 〔対象〕木造個人住宅で昭和56年5月31日以前に建てられたもの
- ◆耐震改修支援事業
  - 〔補助〕補助率2/3 補助対象限度額80万円
- ◆耐震化立替え支援事業
  - 〔補助〕補助率2/3 補助対象限度額80万円
- ◆耐震シェルター設置支援事業
  - 〔補助〕補助率2/3 補助対象限度額24万円

お問い合わせ  
交通防災課

66-3417



## 夏休みスポーツ教室開催



教育委員会生涯学習課主催のことで、夏休み期間中、主に小・中学生を対象とした、和太鼓体験教室・カヌー教室・ジムアゴルフ教室・バレー・ボール教室・親子テニス教室・弓道教室を開催しました。また、この2品に挑戦しました。

4～5人でチームとなり、さっそく料理開始です。わからない部分があるとチーム内で話し合い、それでもわからない部分は講師に詳しく聞きながら料理をしていました。

最後は食事会です。作った1つは町長においしく食べていただきました。みんなも自分で作ったものだけにしておいしそうに食べていました。楽しい夏休みの思い出が一つ増えたようでした。



## 「じぶん料理教室」

8月3日、活性化センターで教育委員会生涯学習課主催のことで料理教室が開催され、21人が集まりました。今回の料理教室で作った料理は

- ・桃とカルピスのムース

この2品に挑戦しました。

4～5人でチームとなり、さっそく料理開始です。わからない部分があるとチーム内で話し合い、それでもわからない部分は講師に詳しく聞きながら料理をしていました。

最後は食事会です。作った1つは町長においしく食べていただきました。みんなも自分で作ったものだけにしておいしそうに食べていました。楽しい夏休みの思い出が一つ増えたようでした。

### ◆自賠責保険・共済の有効期限は切れていませんか？

4輪車は勿論ですが、車検制度のない原付や軽二輪自動車などは有効期限切れ、かけ忘れにご注意を！

ホームページ <http://www.jibai.jp>

## 交通事故による死者数は年々減少傾向にあるものの、平成22年の事故発生件数は約72万件、死傷者数は89万人となり、国民の誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなりえる極めて深刻な状況となっています。

自賠責保険・共済は、すべての自動車の保有者に、自動車1台ごとに加入が義務づけられており、基本的にすべての加害者の賠償責任を担保するとともに、すべての被害者の基本的な賠償を補償する制度であり、被害者の保護を目的としています。

一人一人が、より一層自賠責制度の役割・重要性や、保険金・共済金の支払いのしくみなどを十分に理解・認識することがとても大切です。

## 自賠責